

ぷちぷちこわいはなしー僕らは最高に怖い話を作ってしまったかもしれないー

募 集 要 項

勝央町ゆかりの劇作家 岡本綺堂を顕彰し、怪奇小説作家でもあった綺堂にちなんで全国の小中学生の皆さんから「こわい話」を募集します。お化けや幽霊、妖怪、はたまた名も無い何か・・・私たちとは違う怪しい存在たちが引き起こす不思議でぞっとするこわい話、お待ちしております。

対象

小学生・中学生

応募規定

応募作品は、日本語で書かれた800文字以内の作品で、本人が創作した未発表のもの、1人1点に限ります。データでのご応募に限りです。(※保護者による文字入力補助は可とします) ご応募はWeb応募フォームからのデータ送信のみ受付します。持ち込み・郵送は受付しません。

作品データを下記のWeb応募フォームQRコードから、もしくは、勝央美術文学館のホームページのリンクから、送信してご応募ください。

賞

- 小学生の部・中学生の部、それぞれの優秀作品を表彰します。
◆特賞 各1名ずつ...賞状、副賞として図書カード1万円分
◆優秀賞 各1名ずつ...賞状、副賞として図書カード5千円分
◆入選 各4名ずつ...賞状、副賞として図書カード千円分
◆佳作 各4名ずつ...賞状、副賞として図書カード5百円分
※入賞作品を掲載した作品集を発行します。

受付期間

令和5年6月1日(木)~7月31日(月) 必着

発表

令和5年10月上旬に勝央美術文学館のホームページで発表します。

表彰式

令和5年10月15日(日) 勝央美術文学館で行います。

注意事項

- ※入賞作品の著作権は、原作者と主催者に帰属します。
※入賞作品は、岡本綺堂顕彰事業に使用されることがあります。
※応募作品は、勝央町の出版物などに無償で利用できるものとします。
※応募作品に誤字がある場合、選考の過程で修正することがあります。
※選考についての問い合わせには応じられません。
※盗作、類似、流用等著作権にふれるものは審査の対象外とし、表彰後でも受賞を取り消します。

応募方法

※データでのご応募に限りです!

【Web応募】

応募フォーム
はこちらから



お問い合わせ

勝央美術文学館 ※月曜休館(祝日の場合は翌平日)
〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 207-4
電話: 0868-38-0270(火~金 10:00~17:00)
E-mail: shoomuse@town.shoo.okayama.jp
http://museum.town.shoo.lg.jp

勝央美術文学館 公式WEB



岡本綺堂 (おかもと・きどう)



1872年 東京・高輪生まれ。本名 敬二。幼い頃から漢詩や英語を学び、中学在学中に劇作家を志す。1890年、新聞社に入社。記者の傍ら劇評も担当した。1908年、二代目市川左團次の一座に「維新前後」を執筆。以降、左團次に多くの戯曲を書く。『半七捕物帳』・『青蛙堂鬼談』など、推理物・怪奇物も長く読まれている。後進の劇作家を育てるため、1930年、雑誌『舞臺』を創刊。門下には大村嘉代子、額田六福ら多くの作家が出ている。勝央町出身の岡本経一は養嗣子。1939年逝去。

審査委員長

東雅夫 (ひがし・まさお)



1958年 神奈川県横浜須賀生まれ。早稲田大学文学部日本文学科卒。アンソロジー、文芸評論家。1982年より「幻想文学」、2004年より「幽」の編集長を歴任。2011年に著書『遠野物語と怪談の時代』(角川選書)で日本推理作家協会賞を受賞。著書に『百物語の怪談史』(角川ソフィア文庫)ほか、編纂書に『文豪怪談傑作選』(ちくま文庫)『文豪ノ怪談ジュニア・セレクト』(汐文社)の各シリーズ、監修書に『怪談えほん』シリーズ(岩崎書店)ほか多数。最新刊に『アンソロジー死神』(角川ソフィア文庫)。

10/15 綺堂生誕祭
こども怪談コンクール表彰式
東雅夫 × 澤村伊智 (小説家)
トークイベント開催決定!!
※詳細は、後日発表いたします。

※応募フォームに記載された個人情報、コンクールに必要な範囲内でのみ使用します。